

感染性胃腸炎

大きく分けると細菌性胃腸炎とウイルス性胃腸炎があります。

主要な症状は嘔吐、下痢、発熱で血便がみられることもあります。

細菌性腸炎は抗生剤が有効ですがウイルス性胃腸炎は根本的な治療はありません。どちらも脱水にならないような治療（経口補液や点滴）が重要です。

日常的によく見られるウイルス性胃腸炎（[ロタウイルス](#)、[ノロウイルス](#)）について詳しく説明します。

ウイルス性胃腸炎

様々なウイルスがウイルス性胃腸炎の原因となりますがここでは

[ロタウイルス](#)と[ノロウイルス](#)について説明します。

ロタウイルスもノロウイルスも感染しやすい原因として

- 感染に必要なウイルス量が少ない
- 排泄されるウイルス量が多い
- 症状消失後も数週間ウイルス排泄が続くことがあげられます。

ロタウイルス→ロタウイルスワクチン

ロタウイルスは感染力が強く 10~100 個ぐらいのウイルスが口から入ることで感染します。潜伏期は 1~3 日ほどで、突然の発熱と嘔吐、1~2 日遅れて水様性下痢が出現します。症状は 3~8 日間程度続きます。

ノロウイルス

ノロウイルスは手指や食品などを介して、経口で感染し、ヒトの腸管で増殖します。潜伏期は 12~24 時間で突然発症する嘔吐、水様性下痢、腹痛、吐き気を伴うのが特徴ですが小児では嘔吐を伴わないこともあります。症状は 24 時間~60 時間続きます。

ウイルス性胃腸炎の予防

手洗い、消毒

ロタウイルスにはワクチンがありますがノロウイルスにはありません。

手洗いをしっかりすることで感染予防ができます。特におむつを替えるときは手を洗う前に部屋のいろいろなところを触れないように気を付けてください。

嘔吐した場合は目に見えない吐しゃ物が広範囲に飛び散っている可能性がありますので目に見えている範囲よりも広い範囲を消毒してください。

ロタウイルスもノロウイルスも次亜塩素酸ナトリウムでの消毒が有効です。

0.1%次亜塩素酸ナトリウム液を使用します。(6%の原液でしたら60倍に希釈して作ります)カーペットや衣服の変色の恐れがありますので注意してください。

カーペットは狭い範囲であればスチームアイロンを2分ほど当てても消毒できます。